

3. 選定地域の構想の概要

滝上町バイオマス産業都市構想の概要

北海道滝上町、人口約0.3万人、面積約7.7万ha

構想の概要

町内に豊富に存在する木質バイオマスや廃棄物系バイオマスを有効活用しエネルギーの観点において自立した、環境にやさしく災害に強い町を目指す。また、オホーツク地域を先導する取り組みにより、交流人口等が増加して賑わいのある町を目指す。

1. 将来像

- ・森林系バイオマスの活用による、エネルギーの観点において自立した、環境にやさしく災害に強い町
- ・耕畜連携に基づき、地域特性を活かした産業がともに発展する活気のある町
- ・オホーツク地域を先導する取り組みにより、交流人口等が増加して賑わいのある町

3. 目標(10年後)

- ①廃棄物系バイオマス 99%
 - ・家畜排せつ物 100% ・食品系廃棄物 100%
 - ・建設発生木材、製材残材等 100% ・汚泥 100% など
- ②未利用バイオマス 100%
 - ・圃場残さ、出荷残さ 100% ・林地残材 100%

4. 地域波及効果

- ①経済波及効果 1,338億円
- ②新規雇用創出効果 10,218人/10年
- ③バイオマスのエネルギー利用による化石燃料代替量 熱:23,000 GJ/年
- ④バイオマスのエネルギー利用による化石燃料代替費(A重油換算)
4,230万円/年(705,013L/年×60円/L)
- ⑤温室効果ガス(CO₂)排出削減量
1,911 t-CO₂/年 (705kL/年×2.71t-CO₂/kL)
- ⑥林地残材の利用量、販売量等 苗木供給量:200,000本/年
原木販売量:1,413万円/年 チップ販売量:4,170万円/年 など

2. 事業化プロジェクト

- ①森林系木質バイオマス活用促進プロジェクト
 - (1)木質バイオマス活用促進事業構築プロジェクト
林地残材等未利用森林系バイオマスをチップとして加工し、バイオマスボイラーを備える施設に供給
 - (2)育苗ハウスにおける木質バイオマス利用熱活用プロジェクト
- ②木質バイオマス高度利用検討プロジェクト
小型バイオマスCHPを導入し、電気使用量及び灯油使用量を自家消費で賄うことを検討・計画
- ③食品廃棄物等小規模バイオガス化検討プロジェクト
食品廃棄物(産業廃棄物系、一般廃棄物系)より、小規模バイオガス化装置にてエネルギーに変換

5. 実施体制

町が主体となった組織横断的な「滝上町バイオマス利活用推進協議会」を設置し、全体の進捗管理、各種調整、広報・HP等を通じた情報発信を行う。

6. その他

- ・滝上町第5期総合計画
- ・滝上町まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・滝上町まちづくりビジョン
- ・滝上町バイオマス活用推進計画(予定)

滝上町バイオマス産業都市構想の概要

目指す町の将来像

◆ 森林系バイオマスの活用による、エネルギーの観点において自立した、環境にやさしく災害に強い町

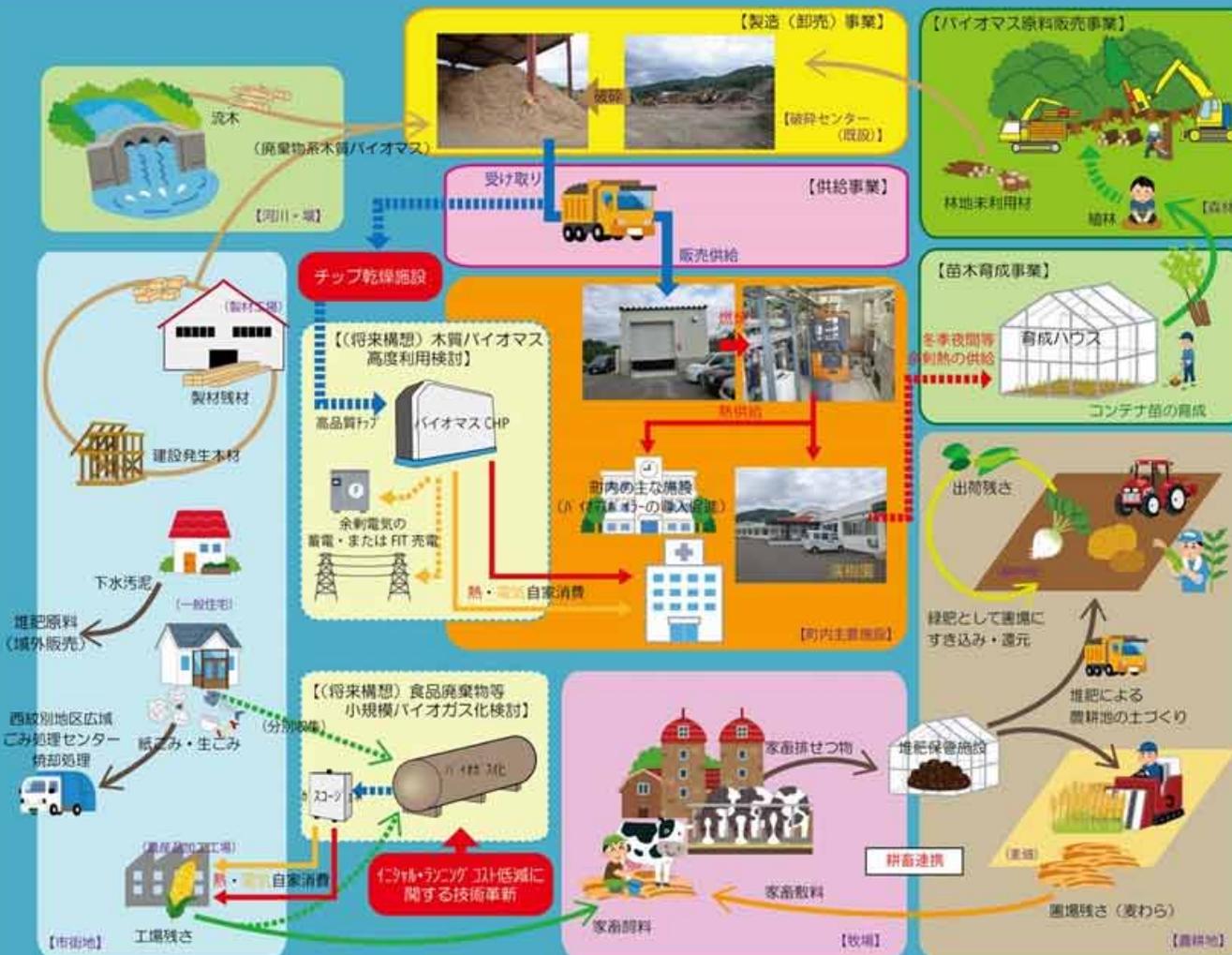
- ・森林資源の循環利用を推進する。
- ・森林系バイオマスの供給体制確立を図る。
- ・森林系バイオマスの利用促進を図る。

◆ 耕畜連携に基づき、地域特性を活かした産業がともに発展する活気のある町

- ・耕畜連携堆肥保管施設における堆肥作成を維持・推進する。
- ・各産業の連携を強化するため、町内協議会等の開催を実施する。

◆ オートック地域を先導する取り組みにより、交流人口等が増加して賑わいのある町

- ・先進技術に積極的に取り組むため、バイオマス利用に関する先進事例の調査や勉強会を開催する。
- ・町内のバイオマス利用に関する取り組みを発信する。



環境と調和した力強い農業の確立

地球にやさしい林業の推進

地域資源を活かす新エネルギーの開発

『人いきいき 町わくわく 童話村たきのうえ～自立と協働のまちづくり～』